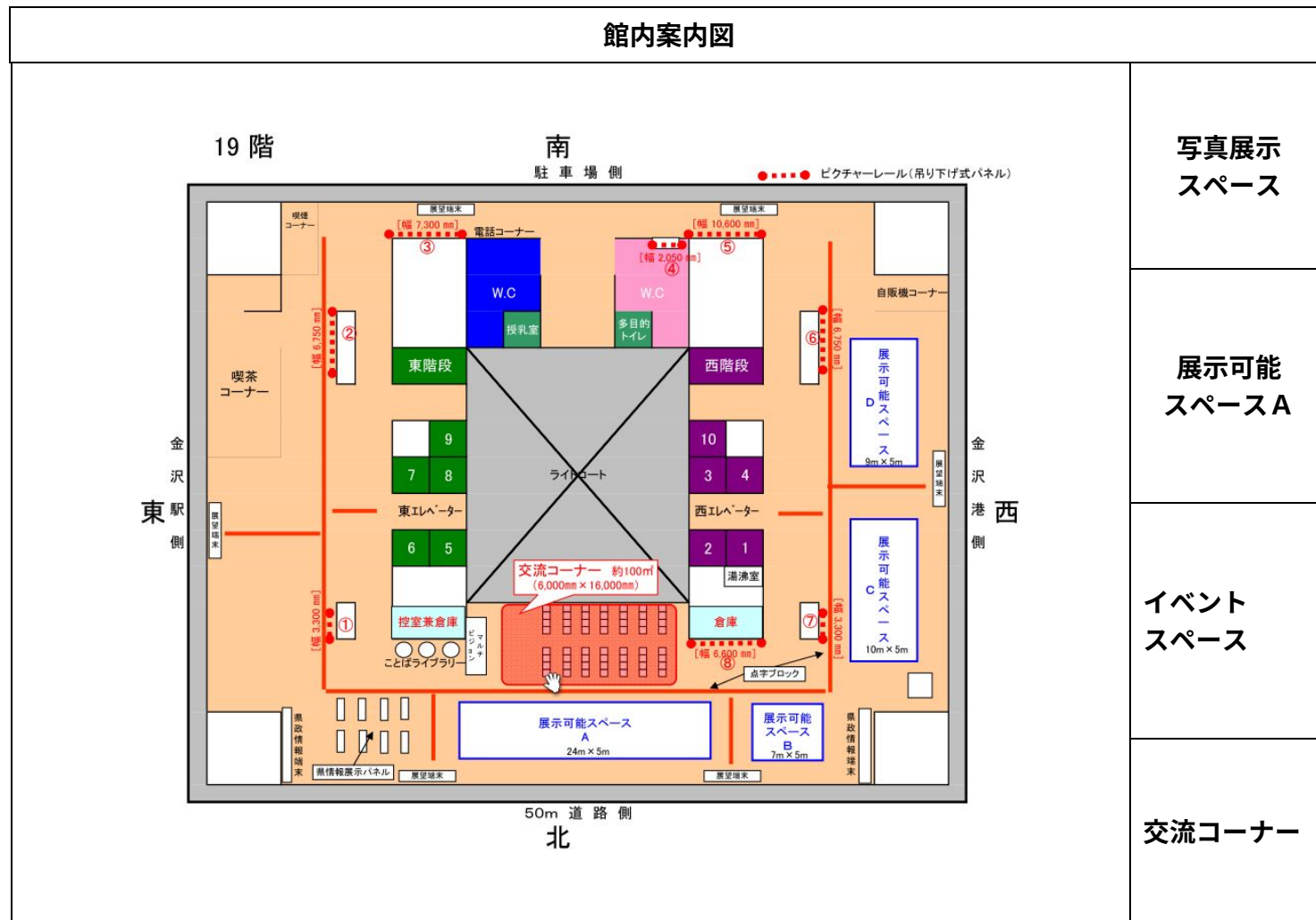


(会場内案内)



ーダウン症聞くまっしシステム6周年記念行事ー

プログラム

ダウン症等障害児を地域で支えるための写真展・作品展

「ダウン症聞くまっしシステム」は、家族や保健、医療、福祉、教育関係者が参加し設立した会で、インターネットにより、医療、教育、就労に関する情報提供とメールによる相談を行っています。提供されている情報は、ダウン症だけでなく他の障害をお持ちの方々にも貴重な情報となっています。

HPアドレス <http://www.kikumasshi.com/>

日 時 平成21年10月25日(日) 13:30~16:00(13:00受付開始)

(写真展・作品展 10月20日(火)~10月25日(日))

場 所 石川県庁 19階展望ロビー 石川県金沢市鞍月1丁目1番

イベント内容

◎写真展・作品展 平成21年10月20日(火)~平成21年10月25日(日)

写真・作品出品者(予定) 中村 環 (福井県) 川田たいし (愛知県)
岩元 綾 (鹿児島) あのねの会有志

◎記念イベント

13:30~14:30

平成21年10月25日(日) 13:30~16:00

一芸披露大会

ヒップホップダンス

エアロビック

音楽療法ダンス

14:30~15:00

就労支援報告会(飲食店で一年半の報告・・・Mさんの場合)

15:00~15:20

スペシャルオリンピックスについて

15:20~16:00

ヘルマン・ハーブの演奏会(体験コーナー)

今回の記念行事の参加費は無料です。

また、事前の申し込みの必要はありませんが、記念イベント当日は多少込み合うことが予想されます。座席に限りがありますので、場合により入場制限をさせて頂く場合もございますのでご了承ください。

主 催：ダウン症聞くまっしシステム委員会・子供の発達を考えるあのねの会

後 援：石川県・石川県教育委員会・金沢市教育委員会・野々市町教育委員会

石川県医師会・石川県特別支援教育研究会・(財)いしかわ子育て支援財団

日本産婦人科医会石川県支部・北國新聞社・テレビ金沢・MRO

財団法人 石川県予防医学協会

健康診断

- 定期健康診断 ●生活習慣病予防健診
- 各種がん検診(肺がん 胃がん 大腸がん 子宮がん 乳がん)
- 特殊健康診断(石綿健診 じん肺健診 など)
- 特定健診・特定保健指導 ●保健指導 ●栄養相談

人間ドック

- 日帰りコース ●1泊2日コース ●レディースコース

クリニック

- 内科・外科・消化器内科 ●労災保険給付二次健康診断
- 循環器外来・禁煙外来・乳腺外来 ●二次健診・精密検査

環境保健

- 食品検査 ●水質検査 ●作業環境測定 ●計量証明事業

協会けんぽ管掌健康保険生活習慣病予防健診実施医療機関
日本総合健診医学協会優良総合健診施設
ISO 9001 品質マネジメントシステム認証取得
ISO 27001 情報セキュリティマネジメントシステム認証取得

〒920-0365 金沢市神野町東115番地(西インター近く)
Tel 076-249-7222(特) / Fax 076-269-3663
URL <http://www.yobouigaku.jp/>

ダウン症聞くまっしシステム開設6周年記念 写真出典者紹介

岩元 綾さん プロフィール



1973 年 4 月 鹿児島市で生まれ、霧島市隼人町立日当山小・中学校を卒業
1993 年 3 月 県立牧園高校普通科を卒業
1998 年 3 月 鹿児島女子大学(現在 志学館大学) 英語英文学科卒業
1998 年 5 月 ニュージーランドのオークランド市で開かれた「第3回アジア太平洋ダウン症会議」に日本初のダウン症者本人として参加、英語でスピーチをする。
1999 年 3 月 図書館司書の資格を取得。
1999 年 10 月 童話「魔法のドロップ」を英訳し、『MAGIC ANDY DROP』を出版。
2000 年 念願のパリに旅し、その体験を 翌01年1月 母親との共著『夢紡ぐ綾 母と娘のデュエット』にまとめ出版。
2001 年 6 月 カナダの童話「HOW SMUDGE CAME」を翻訳、『スマッジがいるから』を出版。
2004 年 4 月 シンガポールで開かれた「第8回世界ダウン症会議」に日本代表として参加、命の平等や出生前診断などについて英語で意見表明のスピーチを行う。
2006 年 8 月 カナダ バンクーバーで開催された「第9回世界ダウン症会議」でダウン症本人としての活動が評価され「ダウン症世界会議賞」を受賞。
2008 年 5 月 自分の生い立ちとこれまでの生活を綴った「21番目のやさしさに ダウン症のわたしから」を出版。

現在、母校志学館大学でフランス語または英語の聴講を続けるかたわら、各地でダウン症や「出生前診断」等について理解を広げる講演や交流活動が続けつつ、メールの発信や、自分で管理するHPでの交流も続けている。

岩本綾さんの HP <http://www.mct.ne.jp/users/ayaiwamo7/>

川田大志さん プロフィール



1982 年 1 月 愛知県名古屋市で生まれ、一ヵ月後ダウン症と診断される。母子通園後池内わらべ保育園、ひまわり保育園へ入園。その後名古屋市立松栄小学校へ入学。
1992 年 6 月 hawaii のアイランド・パラダイススクール、カハラ YMCA ヘサマーファンに参加。この頃から hawaii の夕日の写真を撮りだす
1992 年 10 月 hawaii トーマスジェファーソン・エレメンタリー・スクールへ編入
1993 年 3 月 hawaii カイムキ・インターメディエイト・スクールへ入学、編入
1995 年 11 月 ハワイアロハマーケットブレイズ「ロザリオスタジオ」にて「第一回 川田太志写真展」を開く
1996 年 名古屋市立北山中学校へ編入。働く障害者フォトコンテストへ出品（AJU わだちコンピューターハウス）題名「頑張って」特別賞受賞
1997 年 名古屋市南養護学校高等部へ入学
第 18 回読売新聞読売中部写真展へ出品（hawaii の虹の写真）題名「プレゼントビューティフル」入選
フォトシティーワキタギャラリーB室にて 「第二回 川田太志写真展」を開く
1998 年 第 48 回中部二科展写真の部出品 （空き缶をプレスして山積みの写真） 題名「宝の山」が入選
第 5 回愛知県名古屋市養護出品（AJU わだちコンピューターハウス）題名「ランチタイム」 優秀賞
1999 年 第 23 回愛知二科展写真部出品（hawaii の大きな木の上で休んでいる白鳩）題名「憩う白鳩たち」入選
2003 年 第 53 回中部二科展写真の部出品（hawaii のビルの谷間から見えた夕日）題名「ハワイの印象」が入選
2006 年 第 21 回パチンコ大衆文化・福祉応援賞「福祉応援賞」受賞
第 25 回高間新治と写遊 100 人展へ出品題名「楽屋にて」が日本カメラ賞を受賞。
第 30 回愛知二科会写真公募へ出品 題名「サッカー試合前」が入選
2007 年 ヨナワールドにて第 1 回 和の伝言「書」&「写真」 飯尾恒月&川田太志ジョイント展を開く
ハワイにて”まつりインハワイ”に参加「書&写真のジョイント展」
2008 年 第 58 回中部二科展写真の部へ出品、 題名「祈り」が入選
2009 年 「川田たいし写真集」（題名川田たいし taishi,s happy world）を出版、発売
毎年 フォトシティーワキタギャラリーにて「天使の見つけたもの」偶然と奇跡のハーモニー「川田太志写真展」を開催

中村環さんプロフィール



1987 年 10 月 美浜町に生れる。翌日、金沢医科大学病院で十二指腸閉塞の手術。そこでダウン症と診断される。
1988 年 5 月 大阪の子供の城（ダウン症専門の療育機関）へ月 1 回通い始める。
10 月 母子通園施設「太陽の家」へ通い始める
1991 年 4 月 美浜南西郷保育所入所
1993 年 4 月 矢筈幼稚園入園。公文教室へ通い始める。今も仕事の帰りに通う。
1994 年 4 月 美浜南小学校入学 片道 30 分の道のりを集団登校で通う。
1998 年 運動の苦手な子を対象にしたスポーツ教室へ通い始める。6 年間通う。
絵画教室を始め、月 1 回活動する（平成 10 年～平成 15 年）
2000 年 4 月 美浜中学校入学 自転車で片道 15 分の道のりを通う。
2003 年 2 月 美浜町制 50 周年を記念して作られた MIHAMA よさこい乱 DE 舞というよさこいチームに入る。今年で 7 年目になり、祭りや、ダンスコンテストなどで踊っている。
4 月 嶺南東養護学校高等部入学 自転車で 30 分の道のりを通う。雨の日はバス、電車と自分で使い分けて通学。
2004 年 知的障がいのある仲間と作品作りを始める（書道、絵画、陶芸）
2006 年 4 月 障害福祉サービス事業所はこべの家に通所。納豆作りをしている。
2008 年 1 月 成人式（美浜町） 二十歳展開催 成人式の会場にて個展を開く。
2009 年 6 月 敦賀市美展に書道「海」出品
10 月 美浜中学校新築記念のイベント会場にて作品展示
2010 年（平成 22 年）6 月 関西電力美浜発電所 PR センターにて作品展示予定（1 ヶ月間）
なによりもよさこいが大好きで週 1 回の練習は皆勤賞、昨年と 1 昨年はコンテストで賞を貰い環が壇上で賞状を受け取りました。
仕事も毎月皆勤賞を貰い、好きな物を買うのが楽しみの 22 才です。

あのねの会からのメッセージ



ダウン症聞くまっし6周年記念行事

写真展&作品展

しあわせのカ・タ・チ



人は46本の染色体を持って生まれてきます。

この子たちは、1本多い47本の染色体を持って生まれてきました。

さまざまな合併症を伴う場合もあり、生後まもなく心臓手術を受ける子どもたちも少なくありません。

私たち両親は、悩んだり、不安になったりもしました。

でも、この子たちのおかげでたくさんの幸せを見つけることもできました。

この子たちがいることで 深まった 家族の絆

この子たちがいることで 出会った たくさんの仲間

この子たちがいることで 知った 優しい気持ち

いま、私たちが伝えたいことは

ゆっくり成長するこの子たちを、少しでも理解し、将来、この子たちが立ち止まった時

少しかけ手を差し伸べてもらえたらと。

この子たちの笑顔は幸せをくれます。

笑顔を見て、優しい気持ちになってもらえたらうれしいです。

どうぞ、最後までゆっくりご覧下さい。